

令和7年度「健やかな体」育成プログラム

学校番号：22025

学校名：あいの里西学校

	令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 結果		分析
体力・運動能力 ＜男子＞	全国と比べて高いポイントの種目 ・握力、上体起こし、反復横跳び、ソフトボール投げ 全国と比べて同程度のポイントの種目 ・シャトルラン、立ち幅跳び	全国と比べてやや低いポイントの種目 ・なし 全国と比べて低いポイントの種目 ・長座体前屈	全体的に全国を上回る結果となっている。本校において継続的に行ってきた体力向上の取組の成果が表れてきているものとする。長座体前屈については、全国を5ポイント程度下回っている。
体力・運動能力 ＜女子＞	全国と比べて高いポイントの種目 ・握力、上体起こし、反復横跳び、ソフトボール投げ 50m走、立ち幅跳び 全国と比べて同程度のポイントの種目 ・シャトルラン	全国と比べてやや低いポイントの種目 ・なし 全国と比べて低いポイントの種目 ・長座体前屈	全体的に全国を上回る結果となっている。本校において継続的に行ってきた体力向上の取組の成果が表れてきているものとする。長座体前屈については、全国を2ポイント程度下回っている。
運動・スポーツへの意識、運動習慣	運動やスポーツをすることが好き、やや好きと回答している割合は男女ともに全国、札幌市の平均とほぼ同程度かやや上回っている。	体育の授業でICTを使った学習で、できたり、分かったりすることがあると回答した割合は、男女とも全国、札幌市の平均を下回っている。	体育の授業や体を動かすことに前向きに取り組んでいる子が多いが、ICTを活用したり目的意識をもって活動したりする点では課題が見られる。

三つの取組

①体育・保健体育等の授業の充実

②授業以外で子どもの運動機会を創出する取組

③子どもが自ら健康の保持増進を図る取組

具体的な取組

学ぶ力の育成の方向性と関連させた体力向上の取組の充実を図る

- ・準備運動として「ヒートアップ運動」に継続的に取り組み、持久力と敏捷性の向上をねらう。
- ・運動が苦手な児童にも配慮し、身体を動かす楽しさに触れることを重視した取組を進める。
- ・体力向上加配教諭を中心とし、全教職員が、子どもが課題解決のために自己決定したり、失敗から学んだりしながら、自らの成長を実感できるような体育の授業の構築を図る。
- ・自分の動きを客観視したり、記録の伸びを実感したりするために一人一台端末(ICT)を有効活用する。

「仲間・時間・空間（三間）」の創出による運動機会充実を図る

- ・全校児童が縄跳び運動に取り組む「なわの日」を設定し、仲間と共に目標を達成する楽しさを味わえるようにする。【仲間】
- ・休み時間の外遊びを奨励し、体を動かす機会を充実させる。【時間】
- ・玄関ホールを活用し毎月行われる「ツナガル広場」の取組を通して、体を動かす楽しさを実感できる場の保障をする。【空間】
- ・50m走のタイム測定ができる「ファストラン週間」や「マット・跳び箱週間」など、体育の授業以外にも運動できる場を設ける。【空間】

子どもの「自治的な活動」の推進を図る

- ・健康委員会の活動において、自治的な活動の中で健康づくりに関しての課題を見出し、ポスターによる啓蒙活動などの具体的な取組を充実させていく。
- ・あいあい委員会の活動において、全校児童または異学年との関わりの中で、楽しみながら体を動かす取組の充実を図る。
- ・食指導や保健指導で獲得した知識や技能を子どもたちが実生活で生かしていけるよう指導の充実を図る。
- ・学校生活の基本を掲載した「あいの里西スタンダード」をもとに、生活リズムや食生活について自ら考え、実現していけるようにする。

家庭・地域との連携・協働

体育の授業やスポーツテスト、水泳学習、スキー学習などにおいて、保護者や北海道教育大学札幌校の学生に指導補助を依頼する。

